

第60期

# 中間報告書

平成22年4月1日 ▶ 平成22年9月30日

## CONTENTS

P1 トップメッセージ

P2 財務ハイライト

P3 部門別の概況

P4 連結財務諸表

P5 会社概要・株式の状況

P6 製品紹介



株式会社 鶴見製作所

## Top Message

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申しあげます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申しあげます。

このたび、当社グループは第60期中間決算（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）を終了することができました。

ここに中間報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申しあげます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、中国、インドなどの新興国を中心とした海外景気の改善や政府による経済政策の効果等を背景に企業収益は引き続き改善傾向にあり、設備投資も持ち直しの動きが見られました。

また消費者マインドが改善基調にある中で、個人消費は底堅く推移し、雇用情勢も依然厳しいながらも、持ち直しの動きが見られるなど、全体としましては、景気は緩やかながらも回復テンポで推移しました。

しかしながら、世界的な景気回復の減速感の高まり、欧州諸国での財政不安を発端とした急激な円高、株式市場の低迷やデフレ経済の進行など、景気の先行きは不透明な状況にありました。

このような状況の中で当社グループは、中期3ヶ年経営計画「Revolution2012」の2年目として、総力で設定した課題に取り組み、業績の向上に努めました。

国内部門では、レンタルを中心とする建設機械市場においては、自動型を含む小型汎用機種などを中心に実績は上向きとなり、売上は前年同期に比べ増加しました。

設備機器市場においても小型汎用機種が堅調に推移しましたが、前年に比べ中大型機種を中心とする案件の減少により、水処理プラント案件を含め、引き続き低調に推移しました。

海外部門では、北米地域においては、レンタル市場の小型建設機械の買替え需要により、またアジア

地域においては、インフラ整備の拡大等により市場は活発化しました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は、131億27百万円と前年同期比9.3%の増収、営業利益は、6億34百万円と前年同期比58.0%の増益、経常利益は、5億37百万円と前年同期比18.6%の増益、中間純利益は、3億27百万円と前年同期比16.4%の増益となりました。

なお、中間配当金につきましては、前期と同様の1株につき8円とさせていただきます。

今後のわが国経済は、依然として厳しい雇用情勢、公共投資の低迷に加え、政府経済政策の反動や為替相場の動向、海外経済のさらなる減速懸念など、今後も予断を許さない厳しい経営環境が続くものと予想されます。

その中で当社グループにおきましては、引き続き「技術志向型の企業への変革」をスローガンに、技術・生産・販売の変革を図り、業績の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげます。



平成22年12月

代表取締役社長

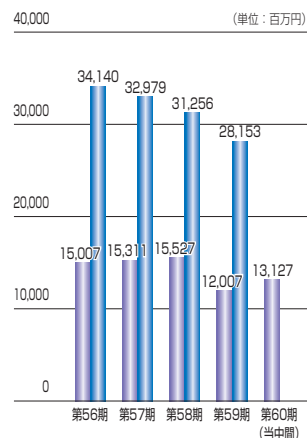
辻野 浩

## Financial Highlights

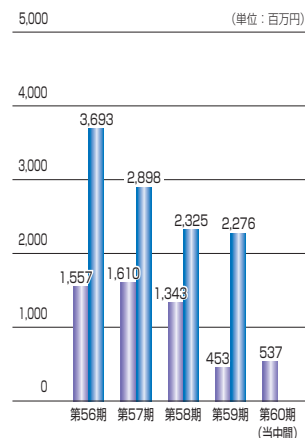
	単位：百万円		割合 (%)	単位：百万円
	第60期 (中間)	第59期 (中間)	第60期 (中間) / 第59期 (中間)	第59期
<b>連結経営成績</b>				
売上高	13,127	12,007	109.3	28,153
営業利益	634	401	158.0	1,975
経常利益	537	453	118.6	2,276
純利益	327	281	116.4	1,345
<b>連結財務状態</b>				
総資産	42,216	42,292	99.8	43,578
純資産	34,510	33,931	101.7	34,700
	単位：円		対前年同期増減額 (円)	単位：円
<b>1株当たり数値</b>				
純利益	13.09	11.09	2.00	53.21
純資産	1,376.45	1,339.58	36.87	1,383.84

■ 連結 (中間) ■ 連結 (通期)

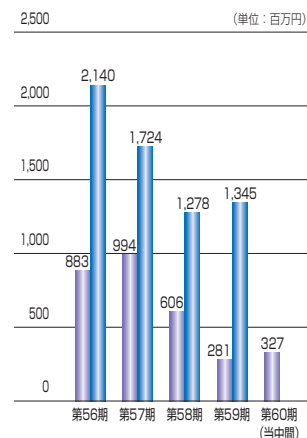
### ●売上高



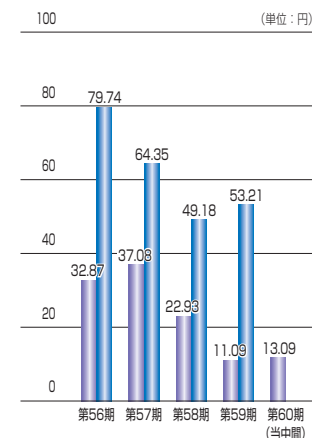
### ●経常利益



### ●中間 (当期) 純利益

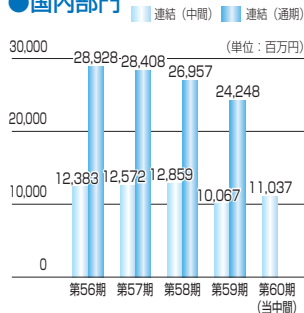


### ●1株当たり中間 (当期) 純利益



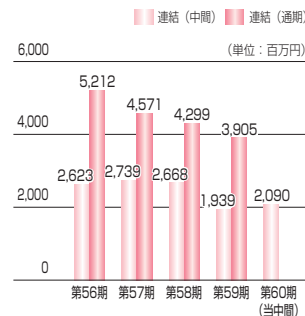
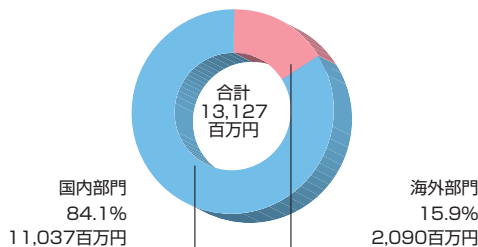
## Segment Information

### ●国内部門



### ●海外部門

#### 部門別売上構成比率



国内部門につきましては、主力市場のひとつであるレンタルを中心とする建設機械市場においては、ここ数年の厳しい環境下における機械・機材への投資の手控えに対する一部反動もあり、自動型を含めた小型汎用の水中ポンプや高圧洗浄機等を中心に実績は上向き傾向で推移し、建設機械市場向け商品の売上は、前年同期に比べ増加しました。

設備機器市場においても海外景気の改善に伴い、一部輸出関連企業等の設備投資などにより、小型汎用の水中ポンプが堅調に推移しましたが、前年同期に比べ公共投資に向けた中大型機種を中心とする案件が減少すると共に、水処理プラント案件などを含め、景気の先行き不透明感から本格的な需要回復には至らず、設備機器市場向けの商品の売上は、引き続き低調に推移しました。

これらの結果、国内部門の売上高は、前年同期比109.6%の110億37百万円となりました。

海外部門につきましては、北米市場においては、2008年のリーマンショック以来、建設機械の買い控えにより市場は冷え込んでおりましたが、ようやく買替え需要が始め、特に小型建設機械の需要が活発となったことから、レンタル市場での販売が伸長しました。

アジア地域においては、海外からの活発な投資と急速なインフラ整備により市場が拡大し、また市場のさらなる深耕の成果も出始めました結果、海外部門の売上高は、前年同期比107.8%の20億90百万円となりました。

### トピックス

#### 岐阜営業所

#### 景観の美化に貢献する噴水設備

岐阜駅前前の噴水設備に弊社水中ポンプをご採用いただきました。

親水施設として市民より親しまれ、夜にはライトアップも行われ光と水が融合されたものとなっております。このような地域社会の景観の美化においても、弊社の水中ポンプが活躍しております。

#### 納入機器仕様

型式 B型・SF型

出力 0.4~3.7kW

台数 全10台



水中ブレードレスポンプ B型

水中うす巻ポンプ SF型



Consolidated Financial Statements

●中間連結貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

科 目	前中間期 (平成21年9月30日現在)	当中間期 (平成22年9月30日現在)	前 期 (平成22年3月31日現在)
<b>資産の部</b>			
流動資産	20,593	20,432	21,762
固定資産	21,698	21,784	21,816
有形固定資産	10,770	10,750	10,826
無形固定資産	604	515	566
投資その他の資産	10,322	10,518	10,422
資産合計	42,292	42,216	43,578
<b>負債の部</b>			
流動負債	5,655	6,100	7,190
固定負債	2,705	1,604	1,687
負債合計	8,360	7,705	8,878
<b>純資産の部</b>			
株主資本	34,778	35,609	35,483
資本金	5,188	5,188	5,188
資本剰余金	7,896	7,896	7,896
利益剰余金	23,923	24,911	24,783
自己株式	△ 2,229	△ 2,386	△ 2,385
評価・換算差額等	△ 869	△ 1,121	△ 806
その他有価証券評価差額金	△ 335	△ 429	△ 323
繰延ヘッジ損益	—	6	6
為替換算調整勘定	△ 533	△ 699	△ 489
少数株主持分	22	22	23
純資産合計	33,931	34,510	34,700
負債純資産合計	42,292	42,216	43,578

●中間連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)


科 目	前中間期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	当中間期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前 期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
売上高	12,007	13,127	28,153
売上原価	8,385	9,212	19,656
売上総利益	3,621	3,915	8,496
販売費及び一般管理費	3,219	3,280	6,520
営業利益	401	634	1,975
営業外収益	284	179	483
営業外費用	232	276	182
経常利益	453	537	2,276
税金等調整前中間(当期)純利益	453	537	2,276
法人税、住民税及び事業税	142	125	1,009
法人税等調整額	28	84	△ 79
少数株主利益	0	0	0
中間(当期)純利益	281	327	1,345

●中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科 目	前中間期 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで)	当中間期 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで)	前 期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,746	2,615	2,615
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 645	△ 516	△ 131
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 276	△ 201	△ 1,635
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 12	△ 117	△ 24
現金及び現金同等物の増加額	1,811	1,779	822
現金及び現金同等物の期首残高	2,508	3,330	2,508
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	4,320	5,110	3,330

## Corporate Data

商号  株式会社 鶴見製作所  
TSURUMI MANUFACTURING CO.,LTD.

大阪本店 〒538-8585  
大阪市鶴見区鶴見4丁目16番40号  
TEL (06) 6911-2351 (代)

東京本社 〒110-0016  
東京都台東区台東1丁目33番8号  
TEL (03) 3833-9765 (代)

創業 大正13年(1924年)1月5日  
設立 昭和23年(1948年)2月12日  
資本金 51億88百万円  
従業員 869名(グループ計)  
(注)従業員数は嘱託、契約社員、パートを除いております。

### ●主要な事業内容

当社グループは、水中ポンプを主力とした各種ポンプとその関連機器の製造、仕入及び販売(輸出入を含む)並びに賃貸を行っており、それに附随する修理及びアフターサービス並びに機械器具設置工事業、土木工事業、電気工事業、管工事業、水道施設工事業、清掃施設工事業、鋼構造物工事業、固定資産のリース業の事業活動を展開しております。

### ●役員

代表取締役社長	辻 本 治
専務取締役	廣 田 正 章
常務取締役	有 本 高 明
常務取締役	加茂田 優
常務取締役	芝 上 英 二
取締役	中 西 寛
取締役	片 桐 健 二
取締役	高 井 優
取締役	恒 成 利 幸
取締役	田 中 静 夫
取締役	野 田 勝
常勤監査役	高 井 博
監査役	掛 川 雅 仁
監査役	鹿 内 茂 行

(注) 監査役掛川雅仁氏及び鹿内茂行氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

## Stock Information

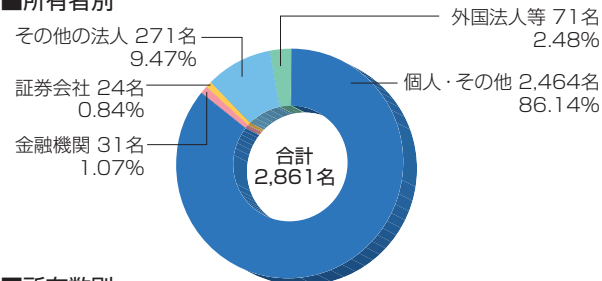
- 発行可能株式総数 100,000,000株
- 発行済株式の総数 27,829,486株
- 株 主 数 2,861名
- 大 株 主

株 主 名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
有 限 会 社 ツルミ興産	1,940	7.74
ツルミ共栄会	1,341	5.36
株 式 会 社 三井住友銀行	1,254	5.01
株 式 会 社 三菱東京UFJ銀行	875	3.50
デンヨー株式会社	648	2.59
鶴見製作所社員持株会	604	2.41
株 式 会 社 有 伸 興 産	518	2.07
住友信託銀行株式会社	465	1.86
株 式 会 社 高 陽	432	1.72
株 式 会 社 ダイコウ	428	1.71

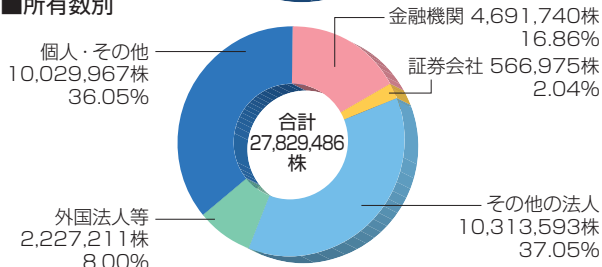
(注) 当社は自己株式2,773千株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

### ●株式の状況

#### ■所有者別



#### ■所有数別



# VANCS

樹脂製水中ポンプの先駆け『バンクスシリーズ』

## PU型 汚物用

吐出口径：40~80mm  
出力：0.15~3.7kW

## PUT型 汚物用

吐出口径：80mm  
出力：2.2・3.7kW

## PUL型 流量調整用

吐出口径：50mm  
出力：0.15kW

## PN型 雑排水用

吐出口径：32~80mm  
出力：0.15~3.7kW

## PSF型 汚水用

吐出口径：40~65mm  
出力：0.25~3.7kW

## TM型 海水用

吐出口径：40~80mm  
出力：0.25~3.7kW

## TQ型 化学汚水用

吐出口径：50mm  
出力：0.4・0.75kW

## PLS型 雑排水用

吐出口径：50mm  
出力：0.25・0.4kW

## TMLS型 海水用

吐出口径：50mm  
出力：0.25・0.4kW

# 0.15~3.7kWのフルラインナップ堂々完成

ニーズで選べる充実のバリエーション



## 株 主 メ ト

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	毎年6月開催		
基準日	定時株主総会	毎年3月31日	
	期末配当金	毎年3月31日	
	中間配当金	毎年9月30日	
	そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日		

### 【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 (郵便物送付先)	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) (インターネットホームページURL)	☎0120-176-417 <a href="http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html">http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/service/daiko/index.html</a>

### 【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といえます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法	当社のホームページに掲載します。 <a href="http://www.tsurumipump.co.jp/ir/announce/index.html">http://www.tsurumipump.co.jp/ir/announce/index.html</a>
上場取引所	東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部

## キャラクター アメニ君



帽子をかぶり、マントを羽織った少年のキャラクターは「アメニ君」と呼ばれています。

彼は人々の暮らしを、そして地球をもっと快適にするために冒険の旅を続け、そして私たちもアメニ君と共に、もっと人と地球に貢献できる快適工学を推進しています。



地球環境保護のために植物油インキを使用しています。